



れんげそう

令和7年10月31日
福生第五小学校
学校通信第579号

子どもとの時間

校長 泉田 巧人

朝夕が冷え込むとともに、日中も寒暖の差が激しくなってきました。通勤で使っている拝島駅から見える富士山もすっかりと雪化粧をして白くなっています。最近はインフルエンザも流行していますので、体には気を付けてください。

さて、10月11日（土）に本校でわらべつくし保育園のスポーツフェスティバルがあり参観させていただきました。

当日はあいにくの雨となり体育館での開催となりましたが、園児たちの競技や演技する姿は伸び伸びとしており、とてもすがすがしい気持ちになりました。親子競技等で、保護者も園児も笑顔でとても楽しんでいる姿を見て私は、「もっと子どもとの時間を大切にして、子育てを楽しめばよかったな」と後悔する気持ちになりました。

私も5人の子育てをしてきました。人数が多いと一人一人に関わる時間も減ってしまうため、休日に一人一人の子どもに、ママとのデートの日、パパとのデートの日をつくるなど、子どもとの時間をとる様々な工夫もしてきました。しかし、今思えば仕事で疲れていた私は、その様々な場面で子どもと心から向き合って遊ぶことができていたのかな、と反省しています。いつも妻に頼りっぱなしで、妻がいたからこそ子育てができたのだと思います。本当に妻に感謝です。

子どもとの時間は、どの瞬間もその時しかないかけがえのないものです。そのかけがえのない時間をより良く共に過ごすことで、子どもの心はより良く育ち、親も親として成長していきます。どのように過ごすかで、子どもの人格に大きく関わってきます。子育ては思い通りにならず、大変なことが多く悩みの連続だと思います。そんな時こそ子どもの目線に下りて、向き合い対話を図ってみてはいかがでしょうか。

話を聞くポイント: ○受容「抱えている感情をありのままに受け止める」

○傾聴「相手の話を否定せずじっくりと聞く」

○共感「相手の気持ちに寄り添う」

褒め方のポイント: ○その場で褒める ○結果より努力を褒める ○事実や感心したことを褒める

○具体的に褒める ○タイミングよく褒める ○少しの変化を褒める

叱り方のポイント: ★感情的にならず冷静に ★体罰等暴力をしない ★決めつけて叱らない

★人格否定をせず具体的な行為を叱る ★短時間で端的に ★理由を伝える

★他人と比較しない ★正しい行動を教える ★叱った後できたら褒める

ふれあい（いじめ防止強化）月間

11月は、東京都の全ての学校で行っている「ふれあい（いじめ防止強化）月間」です。本校の今年度のテーマである、「やさしい学校 第二章～思いやり大作戦～」を達成するためにも、いじめは絶対に許さないという信念の下、各教員が軽微ないじめも見逃さないよう取り組んでいます。

自分では、いじめている意識はなく遊びやふざけの延長で友達に対して不適切に関わってしまう子どももいます。しかし、その様な場合でも、いじめ防止対策推進法に定められている「いじめの定義」では、相手が嫌だと思えば、「いじめ」となります。保護者の中には「遊びの中での出来事でしょ」「よくあることではないですか」などと思われる方もいると思いますがそうではありません。御家庭におきましても「いじめ」について正しく認識し、いじめは絶対に許されないものであることを話し合っていただき、学校と共にいじめの防止に御協力いただけたと幸いです。



雪化粧した神無月の富士山